滿洲日報

社説

潜水艦問題
四國の環境上 日本は反對

軍備縮小を理想的に徹底せしむるならば、當然に、あらゆる軍備を撤廢すべきである。併しながら現實の事實として、この世界から軍備を全廢するといふことは、まづ不可能事といはねばならぬ。そこで事實上に幾分にても効力あらしめんとして、制限よりは縮小、出來得るだけの軍縮を協定せんとして開催するのが、今次のロンドン會議である。

◇

軍備を全世界から廢絶することが理想であるけれども、現代文化の程度を以てせんか、廢絶の結果は却つてまた軍備を整へねばならぬことにならぬとも限らぬ。そこで武裝的平和といふやうな鵺的言辭の生れるのも已むを得ぬのであつて、ロンドン會議の如きも、これを理想と現實と、而して各國の環境とを考察して見ねばならぬ。イギリスが潜水艦の廢止を提案し、アメリカがこれに賛成するのも穴勝ち無理からぬことである。同時にまた、その提案に對しフランスが反對するのも當然のことといはねばならぬ。

◇

潜水艦が人命に與へる損傷の莫大なるに鑑み、これを廢止せねばならぬといふのであるならば、わが財部全權の言ではないが、航空機を如何にせんとするか、と反問せねばならぬことになる。兵は兇器なりで、如何なる軍備も人命に損傷を與へぬものはない筈である。苟くも軍備といふことが、事實上絶對に廢止し得ぬものといふ以上は、如何なる武器も程度の差こそあれ、絶對的のものは有り得べからざることに注意せねばならぬ。

◇

そこで潜水艦の廢止といふことに關し、その環境上、日本としては贊成し得ぬことを知らねばならぬ。吾人は、わが國防上、無脅威の保障を得んがためには、補助艦艇において對米七割まで讓歩することの聲明に贊成したものであるが、併しそれも主力艦の比率五、五、三から割り出したる最小限度のものであつて、若しも潜水艦を全廢するといふことになれば、必然的に主力艦その他の比率を改更せねばならぬことになるのである。主力艦五、五、三といふ比率は、主力艦以外の各補助艦艇の勢力から割り出して生み出した絶對的の數字であるのである。海軍々備は主力艦は主力艦、巡洋艦は巡洋艦といふ獨立的のものでなく、各艦種を通じての算定によつて効力を發生するものであらねばならぬ。

◇

然るを端的に、突然、潜水艦の廢止といふたところで、それでは列國の實情を無視した机上の空論といふことになるのである。

◇

若し潜水艦の損傷はなはだしく理が非でも、これを廢止せねばならぬといふならば、須らく問題をワシントン會議にまで戻し、主力艦の比率から改更してかゝるの覺悟が肝要ではあるまいか。主力艦は直ちに以て潜水艦の役目を勤むることは出來ないが、相互の特色は、作戰上 相補ふものであることを知らねばならぬ。

◇

從つて勿論、潜水艦を相當の程度に制限すること、または潜水艦の無謀なる暴力發揮を抑制するが如き國際法規を協定することは、あるひは必要であるかも知れぬ。が併し、これを全然廢止せんとするが如きは、あるひはイギリス、またはアメリカなどには好都合かも知れぬが、防禦的なる、而して劣勢をまた主力艦その他において劣勢を承認してゐるフランスや日本などの贊成し得ぬところであるに相違ない。

◇

最後に吾人は、かくの如き提案をするに當り、イギリス全權は盛んに、他國と何ら諜し合してゐぬといふことを辯明してゐるが、そんな辯明の必要もあるまいではないか。ら、何らの諜し合せのなかつた提案であつても、それが偶々自國に都合のよい提案であるとすれば、他國からも疑ひを受けることは當然ではあるまいか。

現下の國情に照して何黨最も信頼すべきか
國民の公平なる判斷を望む
濱口民政黨總裁の獅々吼

【東京十二日發電】十二日日比谷公會堂に於ける濱口民政黨總裁の演說左の如し

議會解散の理由は極めて明瞭なり、政府の反對等が衆議院に於いて

絶對多數を

擁する狀態の下に於ては政策の遂行に障碍多く到底完全に國政燮理の責を竭す能はず、且つ反對黨の多數は總選擧の結果に依らず所謂不自然の多數にして國民の總意を反照するものと認め難く、故に新たに總選擧に依り政府信任を國民に問ふは政府の措置にして憲政の本義に合するものなり、例へ反對黨も政府と政策の一致する以上いて議會解散するのいはれと言ふもの有れ共現內閣と政友會の政策とは決して一致せず、即ち

外交特に對支外交

政友會內閣二年間の對支外交は叢りに積極外交を强行し三度も兵を山東に出し此の爲め問題相次いで起り日支關係極度に惡化した、政友會の對支外交は常に局部的又は局地的問題に没頭し大局の利害を誤るの傾き有り

財政政策

政友會は積極政策と稱して頻りに財政を膨脹せしめ昭和四年度歳計は十七億七千餘萬圓の最高記録に達し、公債は六十億圓に上り尚ほ年二億圓內外の新規公債發行の計畫を立てた事は財政々策にして一度行詰らんか遂に增税を餘儀なくせしむるに至らん斯くて國民の負擔は增加し公債價格は下落し物價は國際的平準以上に騰貴し貿易の逆調甚だしく爲替相場は低落し動搖を極めた、斯る虛僞の經濟狀態の下に於て外國貿易は一種の投機取引と化し內地の產業も亦其の餘波を受けて投機的性質を帶びたり政友會は何の見る處あつて斯る財政政策を遂行したりや、之に對する民政黨の財政政策の相違は過去の主張にて國民の等しく認むる所である、又既往七ケ月の民政黨內閣の施設は明かに之を證せり

金解禁問題

本問題に對する政友會內閣の態度は曖昧を極めた、時期熟すれば解禁可なりと云ふも其の時期は無爲無策にして自然に到來するものに非ず寧ろ漫りに公私經濟を膨脹せしめ物價を騰貴せしめて貿易の逆調が自然に展開するものと思はゞ謬まれるの甚だしきものである、政友會の財政、經濟政策は總ての點に於て金解禁の機運促進に逆行するものである、金解禁の準備として現內閣が實行したる政策は實に解禁準備の定石にして現內閣は此の定石に從つて着々準備を進め機熟して遂に解禁を斷行した、政友會は之を以て時期尚早として今尚ほ非難しつゝあるは吾人の了解に苦しむ所なり

兩税委讓問題

政友會唯一の最高政策たる本問題に我が黨が絶對反對なるは既に明かなり

選擧區制問題

我が黨は中選擧區制を主張し更に進んで比例代表の利害を考究しつゝあるに、政友會は小選擧…

海軍軍縮問題

定員三千名の會堂に二萬の大衆押かく
濱口總裁の演說を聽かんとて
民政黨の大演說會

大盛況の演說會
政友會城東支部

二に分れ開會

前回に比し百餘名減少
十二日には八百三十八名
立候補届出本日締切

選擧ゴシップ

政友公認
二百五十四名

立候補

犬養政友總裁遊說日程

日米比率に關して近く交渉を開始
今日迄は意思不表示

佛英の交渉
佛は七十二萬四千噸要求

潜水艦の攻擊力飛機驅逐艦同樣
佛國代辯者の意見

協定成立を確信
英首相下院にて聲明

正式會議に對する露支兩國の方針
南京政府の干渉に東北政權不滿

近く對米意見表示
佐藤事務總長談

使用制限賛成

米紙の軍縮論

巡洋艦縮小に根據地中止反對

治外法權を無條件にて撤廢
諸威政府支那に提議

內海氏形勢好轉

今週の會議推移日本にとり重大
日本委員頗る緊張す

わが全權の發表見合はす

伊國全權演說の要旨

米全權を攻擊
ボラー氏が

滿鐵附屬地回收準備の調査
國民政府から命令

マック首相ス氏と會見

南京政府

首相陸相會見要務

杉浦翁七年忌

關東廳辭令

葫蘆島築港經費外債募集か
遣回の契約は第一期工事費

辭令

安閑子

神戸特產

横濱生糸

大阪綿糸

東京株式

大阪株式

神戸期米

大阪期米

東京期米

滿日地方版

奉天

紀元節の佳き日に 奉天教化聯合會が發會式
警察署講堂で盛大に擧ぐ
可決された規約

奉天教化聯合會の發會式は紀元節の佳節を卜して十一日午後零時廿分から奉天署講堂に於て擧行、列席者は小倉地方事務所長、川合奉天署長、富村副會頭、稻葉醫大學長、小川赤十字社病院長、安藤高女校長等を初め總て卅八名に達し川合署長の挨拶に次いで會長の推戴に移り小倉地方事務所長が異議なく推戴された、小倉議長座長席に着き奉天教化聯合規約案につき種々打合せをなしたる結果原案に多少の修正を加へて可決し午後一時閉會した、なほ修正聯合規約案は左の通りである

奉天教化聯合規約

第一條　本會は奉天教化聯合會と稱す
第二條　本會は左の諸團體を以て組織す
一、各官衙一、各學校一、修養團一、青年團一、少年團一、體育協會一、聖德會一、人類愛善會一、在鄕軍人聯合會一、商工會議所一、居留民會一、奉天神社一、奉天各宗教團一、同婦人會一、婦人矯風會一、篤志婦人會一、圖書館一、奉天青年聯盟支部一、赤十字社奉天支部一、各新聞社一、國粹會奉天支部一
第三條　本會は國體觀念を明徵にし國民精神を作興し經濟生活の改善を圖り國力を培養するを以て目的とす
第四條　本會の事務は之を……に置く
第五條　本會は其目的を達する爲左の事業を行ふ
一、講演會映畫會等の開催
一、印刷物その他の刊行物頒布
一、其他本會の趣旨に適したる事業
第六條　本會に左の役員を置く
會長一名（小倉地方事務所長）相談役二名（川合署長、守田民會長）幹事（常務幹事）（會長に一任）
第七條　會長は本會を代表して會務を統理す會長事故ある時は相談役之を代理す
第八條　常務幹事は毎月……日に於て定例會を開催し重要の事項を審議し既往の事業成績の報告及將來の事業に關する決議をなす必要の場合は臨時會を開催す

龍攘虎搏の白熱戰を演出す
滿洲醫大輔仁會武道部主催の第十六回武道大會

滿洲醫大輔仁會武道部主催第十六回武道會は十一日午前九時半から醫大健武館に於て開催、參加者は大連、本溪湖、鐵嶺、遼陽、開原、長春、鞍山、大石橋各警察署、奉天、撫順、鐵嶺、沙河口、大石橋の各道場、醫大、奉天、撫順各中學、奉天憲兵隊等から選り出された猛者連揃ひで稻葉會長の挨拶に次いで柔劍道共段外者よりの

紅白試合 に移つた、この日觀衆會場に溢れ各選手とも必勝を期しての奮戰に終始し龍攘虎搏そのまゝの大接戰を演じたが劍道段外者では醫大の倉根氏、有段者では撫警の愛甲氏、柔道段外者では撫道の谷口氏、有段者では沙河口道場の田中氏優勝し、入賞者にはそれ／＼賞品が椎野部長より授與され午後五時盛會裡に閉會した なほその優勝者は左の通りである

劍道▲段外者＝一等倉根（醫大）二等進藤（奉警）三等野邊（奉警）四等松原（大石橋道）五等關（沙道）▲有段者＝一等愛甲（撫警）二等河合（醫大）三等岸川（奉警）四等小島（奉道）五等武宮（醫大）

柔道▲段外者＝一等谷口（撫道）二等古野（醫大）三等本鄕（奉警）四等高木（撫道）五等苅部（醫大）▲有段者＝一等田中（沙道）二等久保（營警）三等白鳥（鐵警）四等重岡（奉道）五等西本（奉警）

なほ柔道には講道館投の型、極の型あり最後に高橋四段對森岡初段、新居初段、成田初段、坂田二段、川畑二段の五人掛試合あり觀衆を喜ばせた

絶好の好晴、朝陽麗かに 全滿に映發する日章旗
＝各地とも空前の盛況＝
建國の佳節を祝ぐ日

大石橋　天朗氣晴寒暖計は零下三度といふ絶好の紀元節日和去八日の聯絡委員會で申合せてあつた爲か軒毎の國旗は一齊に朝日に飜へつてゐる午前十時五分前には小學校講堂に多數參列者の顔が揃ふ、時間の勵行と多數參列の申合せが實行された事は紀元の佳節に適はしい好い感じを與へた、君が代奉唱、教育勅語奉讀、參列者の拜賀、谷口校長の訓話等形の如く終り、河內地方事務所長は恭々しく精神作興の詔書を奉讀して式を終つたのは同十時四十分、參列者一同更に神社に參拜し恭々しく玉串を捧げて天壤無窮の皇運を祈り今日の佳き日を祝して十二時過ぎ解散した

遼陽　遼陽に於ける紀元節の佳辰に際し各所の擧式は
▲遼陽神社　は午前九時から平井神職の司職で執行寒氣の折りにも拘らず例年に稀なる多數の參列者であつた
▲遼陽領事館　では午前九時半から十時半までの間に御眞影拜賀式が行はれた
▲遼陽小學校　でも午前十時職員生徒父兄の多數講堂に參集嚴肅な擧式があつた
▲在住民の合同祝賀會　は午前十一時公會堂に於て開催、參會者二百餘名見坊所長開會の辭に次で君が代二唱終つて精神作興詔書奉讀（見坊所長）帝國萬歲三唱（松井第十六師團長）の後宴に移り正午閉會

開原　開原神社には早朝から參拜者の絶え間なく、午前十時小學校講堂に於ては拜賀式が最も莊嚴に擧行され永野校長の紀元節建國に關する講演が有つた、午前十一時公會堂に於ける祝賀會は開會、定刻一同起立君が代を合唱し川崎所長の祝辭、奈良隊長發聲にて三陛下の萬歲を三唱し續いて前田署長發聲にて大日本帝國萬歲を三唱し宴に移り各亭の美妓酒間を斡旋し盛會を極めた

瓦房店　瓦房店小學校に於ては二月十一日の紀元節佳節を卜し午前九時四十五分校庭にて國旗揭揚式を擧行、更に午前十時より講堂に於て紀元節拜賀式を擧行した、參列者は各所屬長新聞關係守備の將校下士兵卒警察署員在鄕軍人分會員機關區の修養團員其他地方側有志無慮千名以上で近來稀に見る盛會を極め終つて教化聯盟主催の國家精神涵養に關するポスター展覽會を開催した

四年度料亭業績

奉天附屬地における各料理店昭和四年度稼業成績並に花柳病の成績左の如し（單位はパーセント）

屋號		稼業成績百分率	花柳病百分率
榦山	藝	七八・一六	六・七二
米屋	同	八七・九九	〇・九八
杵屋	同	九〇・八五	六・五四
松月	同	八七・七六	一・四四
天狗	同	八四・六八	四・〇三
松の家	藝	七三・二一	二・六四
	酌	八一・〇九	六・八四
泉	藝	七一・一三	二・六八
	酌	八一・七七	一・六一
旭樓	藝	七八・一一	五・三五
	酌	七九・〇四	五・一五
いろは	藝	七一・九一	一〇・四八
	酌	七三・六四	四・一三
玉の井	藝	七二・六五	一五・一七
	酌	五七・七八	二八・一九
穗積	藝	九〇・四六	四・三六
	酌	七八・二四	五・八六
一山	藝	八三・八五	四・九五
	酌	八四・七八	九・八七
富田屋	藝	九三・三〇	三・三五
	酌	八五・三六	六・三五
滿月	藝	八二・九五	三・四二
	酌	九〇・五〇	二・三六
菊家	藝	六七・六四	八・一六
	酌	六八・六二	一三・七七
吉良	藝	六八・七一	一三・三三
久	酌	六九・七〇	七・五六
お多福	藝	六五・一七	九・三一
	酌	七三・四九	一五・八一
醉月	藝	九三・二七	一・四四
	酌	八七・一八	八・四二
稲住	藝	八四・六七	五・一一
	酌	八八・五四	一・五九
靜家	藝	一〇〇・〇〇	〇・〇〇
	酌	八九・三一	二・〇〇
曙	藝	七八・五一	〇・〇〇
	酌	七五・八六	一・九〇
白梅	藝	九〇・九一	一・五一
	酌	六四・一〇	三・〇八

四年度犯罪數

奉天署管內における昨年度の犯罪件數は千九百件その中檢擧數千四百四十三件で之を前年度の犯罪數[illegible]件に比し犯罪數は四十件檢擧數は四百五十四件增加してゐる又その被害金額は强盜二萬二千二百十五圓、竊盜十二萬二千八百六十六圓、詐欺二萬三千五十二圓、橫領四千八百九十三圓、合計十七萬三千二十六圓といふ驚くべき金額に達してゐる右の中竊盜が大部分を占め犯罪は戶締の手薄い夏季が最も多い

推薦兒童讀物二種

奉天教專內兒童讀物調査會例會に於て左記二種が推薦された
▲化學工業の進步「誰にも解る科學全集」の第五回配本、纖維素燐料、飲食物、肥料、油脂、瀨戶物、ペンキ、ゴム、寫眞、金屬、顔料、印刷、皮革、火藥、その他の項目について記述してある、參考書として大人の常識書としても推薦し得る、高等科程度、原田三夫著、四六版裝幀乙國民圖書株式會社發行價一圓
▲黑糞と星　この詩集は少年を相手に書いたものではないが、純な童心で歌つてゐる簡素な詩は子供をして詩に切實に觸れしめるであらう三年以上程度田中清一著菊版裝訂甲春陽堂發行價一圓

大石橋

商店協會集會
十日蟠龍寺に

大石橋商店協會は向上發達と親睦を計るため毎月十日集會するを例とせるが十日夜六時より蟠龍寺に集り一般協會事務報告の後ち石川氏並に山口協會長より湯崗子に於ける消費組合問題に對する協議の結果に就て報告する處あり伊藤地委議長は特に參集して滿鐵社員並に一般消費者の地方商人に對する思想感念に就いて說くと共に地方商人の反省自覺を懇談し同九時過ぎ解散した

哈爾賓

持ち直した舊正明けの華商
歐亞直通による旅客目當てに
露國側も商狀恢復か

舊正明けの支商一般は時局の影響を脫れて稍舊狀に復し傅家甸のデパート同記號は多數の顧客雜沓し時局當時に比して約倍額の賣揚あり、大新羅同發隆の如きもまた一時難局に立つてゐたが大體に於て經營を持續して行けるだけの狀態にある、埠頭區方面に於ても露支一般に哈大洋票の崩落で多少の

打擊を 受けたが兎に角不安の空氣は一掃されたのでキタイスカヤ街一流の商店も賑はつてゐる、然しチウリン商會その他の一流デパートは、時局前の如き賣揚高はないがこれから歐亞直通聯絡の旅客と北滿觀光客の來哈シーズンとなつて來るので愈々商狀の恢復するは四、五月頃であらうと見られてゐる、日本商品陳列館には既に一月中に十件餘の商取引の照會が內地からあり其のトップを切つた東京の八ケ瀨帽子商會からは出張員が來哈し各方面と春から夏間のフエルト帽及び眞田帽等の手合せを行ひ

相當の 成績を上げ他に歸京したが陳列館には京阪、愛知其他から早くも見本市出張の照會あり同館では先づ露支關係が現狀で落ち着くものとすれば本年度は昨年の品ガスレのため多少の手合は行はれるだらうと樂觀されてゐる、然し從來の如き多種多樣の見本市よりは主として專門的品種の限定された方面のものが將來は成功するだらうから見本市の素質に改革をする必要があらうと云はれてゐる

鮮滿旅客聯絡會議
出席者來哈す

奉天に於ける鮮滿旅客聯絡會議に鮮鐵側を代表して出席した佐藤參事は河野平壤運輸課長外六名と共に十日來哈し滿鐵事務所の織井參事の案內にて東支管理局にルーデー局長を訪問し挨拶した

濱江雜俎

石原運輸課長は十三日浦鹽方面の運輸狀況其他を視察のため約一週間の豫定で出發
◇
築島事務所長は十三日東支俱樂部にソウエート東支幹部ルーデー、デニソフ其他を招待し一夕の懇親宴を開催の由
◇
ハルビン小學校にては十一日紀元節に午前九時半から拜賀式を擧行した

開原

旭山會溫習會

既報の通り旭山會溫習會は十日午後七時より滿鐵俱樂部に於て開催され
蓬萊　四名合奏、常陸丸川崎山光孃、四條畷筒井山星孃、湖水渡千々和山松孃、橘中佐前田山櫻孃
何れも長足の進步であり乃木將軍遠藤旭泉氏彈法感量共に聽衆をして歎賞せしめた西尾旭山師が小栗栖を彈じ終つたは十一時を過ぎ近來稀なる盛會であつた

加岳井氏送別弓會

開原弓道部では今回加岳井三段鐵嶺へ轉勤につき十一日十二時半より送別競射會を大弓道場に於て擧行し午後三時半競射を終り滿鐵俱樂部に於て送別宴を催したが天氣晴朗にて本年の戶外運動の魁であつた成績左の如し
一等加藤木、二等橋本、三等川崎、四等富岡、五等西谷、以下略す

撫順

道路網と共に電車網計畫
總工費約五十萬圓で
新線敷設と線路補修

撫順炭礦では既報一般居住者の希望に添ひ道路網の完成を急ぐと一方作業の圓滑、通勤者の距離短縮を計るべく新年度に於て總經費約五十萬圓を投じて電車網の大成を期し工務所線路係主任の手で設計を急ぎつゝあつたが新線敷設及び事故防止目的の線路補修具體案は最近次の如く內定した、第一に中央事務所、新市街、永安臺社宅街方最も交涉深き舊市街及び古城子坑との距離短縮を計るべく事務所とから舊車庫前までの直通線を新設する、從來は

◇千金方面に 行く電車は東鄕を迂廻同所より車庫前に逆戾りしてゐたのを全廢、東鄕停留場は東鄕社宅西端に移轉する、從つて老虎臺以東に行く者は機械工場前通過線を選ぶが舊車庫前で乘換る、右は舊市街方面と關係ある通勤者並びに一般乘客は老虎臺前面行乘客に比し非常に多い爲めである（この經費約三萬圓）萬達屋新屯間の單線も約七萬圓で複線にする、是は電車衝突を防ぎ待合せ時間を短縮し炭礦の運送敏活を計る爲めである、其他は次の如し
▲約五萬圓で新發電所行き電車新設▲約一萬圓で新發電所灰捨線新設▲一千三百圓で機械工場客車塗替工場行新設▲約二萬七千圓で大山第三注砂場新設▲約八萬圓で前記新設線に附帶する架空電線敷設▲約二十三萬圓で事故防止、運送能力增進の爲め約百哩に亙る既設線路の補修をなす

工業實習所入所生
夥しい受驗生

工業實習所入所試驗は去る四、五の兩日行はれたが採用人員約六十名に對し志望者百八十七名で履歷書で十數名振ひ落され受驗生百七十二名の內機械二十、採鑛廿一、電氣、土木各十、計六十一名合格と八日午後決定した、受驗者の內中學卒業五名、中學四年五名、甲種商業四年一名、中學二、三年在學生等はザラにあり、試驗成績の良かつたのは千金寨高在學生で合格者十名を出した、合格者氏名次の如し

機械科
△秋山登紀夫（岐阜東濃中學卒）△松浦寬一△有川虎男（都城中三）△松崎芳夫（大連二中卒）△本村末雄△橋木薫△大橋秀三郎△坂本正△山本岩重△安岡良三郎△坂本二）△岡崎紀男△秋元春二（奉中二）△後藤光雄（大分工業二）△木下金穗△末松淸△渡邊勇治△山下輝治△井上常夫△萩原壽彌（撫中二）△西澤武雄

電機科
△若林四郎（佐賀小城中學五）△秋村虎一△矢崎由男△松本純一（撫中二）△和氣誠△吉橋茂保（福岡、朝倉中學卒）△大西猛夫△小酒正雄△德永俊道△皆本敏夫

土木科
△坂井正信（福岡中學五）△中村元弘（第一鹿中三）△矢吹健一（安中四）△鈴岡正秋△小林博△吉川武夫（旅中三）△野上大吉△坂本滿△成淸常光（鞍中二）△城口正義（撫中二）

採鑛科
△加藤重吉△東宗義△中越庄太郎△高田平△藤本太郎（島根、濱中三）△林三郎△堀日出夫△荒田明△菊地武△植木七五三之須計△日高惟明△岡崎滿龜夫△石塚英彥△中村勝重△原田靜男△戶上一馬（三池中四）△石田宗雄（撫中二）△淸部滿（撫中二）△能仁正隆（福岡高等豫備校）△川上守衛△有賀三郎

長春

兩小學入學生
二百四十三名

本年の室町、西廣場兩小學校入學希望者は地方事務所でこの程申込を締切つたが入學兒童は二百四十二名で內トラホーム患者十四名だと

安東

安東の人口
六萬三千名を突破

地方事務所調査に依る昭和四年十二月末現在の安東の人口は

▲內地人	男	五、八九〇人
	女	五、六二三人
	計	一一、五一三人
▲鮮人	男	四、四五八人
	女	三、八二五人
	計	八、二八三人
▲中國人	男	二八、四七八人
	女	一四、七五四人
	計	四三、二三二人

で此總計六萬三千二十八人にて昨年一月一日より十二月一日までの出生及び死亡を對照すると內地人は男四十二人女二十四人計六十六人生れた者の數が多いが鮮人及び中國人は何れも死んだ者の方が多い、此鮮人及び中國人の死亡の多いのは大概一歲未滿の幼兒に多い所から見て一般に衞生が徹底してゐないらしいと

製鋼所問題
要請懇談

安東商議荒川會頭は鄕里に於ける總選擧應援と自黨地盤擁護の爲め九日夜急行列車で出發したが歸鄕の序を以て新義州商議加藤會頭と同道京城に立寄り上京前にある齋藤總督及び兒玉總監を訪問目下岐路に置かれつゝある製鋼所問題につき要請懇談を爲す筈であり荒川氏は廿三日頃鄕里出發歸安の筈であると

朝日校增設

安東地方事務所長井上信翁氏は安東焦眉の急務とされて居る第三小學校建設問題其他重要事務打合せの爲め過般來赴連中の處八日夜歸安したが滿鐵本社當局の意嚮は現在の朝日校を增築し之に高等科を移すと言ふ方針であると語つて居た

茅野隊長夫人危篤

新義州茅野憲兵隊長夫人はつね氏は心臟病の爲め十二月初旬頃から道立病院に入院一時輕快に趣いたので同月下旬退院したが退院後の經過面白からず再度入院療養中であつたが八日頃から病勢急に惡化し目下危篤の狀態である

國境雜信

◆安東驛貨方助役方にては去る三日三男出生し九日敏三と名をつけたが母子共非常に健康であると
◆在京城記者團一行七名は九日朝新義州着各方面の視察をなしたる上午後一時來安稅關派出所並に會議所を訪問した
◆安東有志は九日午後五時より來安中の京城記者團を料亭由良之助に招待晚餐會を開催したが頗る盛會であつた
◆石川平北知事は管內初度巡視の爲め宣川及定州郡へ出張中の處九日午後八時四十一分着列車にて歸廳した
◆新任新義州地方法院次席檢事橋本恒五郎氏は十日午前十一時三十七分着列車にて着任したが驛頭には多數の出迎があつた
◆滿鐵本社鐵道部經理課員神庭虎佐氏は沿線各主要驛の物品出納檢査の爲め八日來安同日と九日にかけて安東驛の物品出納檢査を行つた

遼陽

家賃値下要求に對し
大家主連が協議
十一日公會堂で開催

遼陽在住市民中約百戶の借家人が現在の市況と家賃が不均衡と云ふので五割値下の協議をなし、委員から町內區長を通じて家主側に交涉中であつたが、家主側は土屋牧場、岡田醫院主等が大家主である立場から兩氏發起で十一日午後六時から公會堂に於て對策に付協議する處があつた

白塔便り

工場撤廢が生んだ副産物の第一聲は家賃値下運動である、鞍山等に比し從來高いだと云ふ評判だから合理的運動となつたら否む譯には參るまいが借家人會で委員まで選出しながら町內の區長に値下交涉は少し筋違ひはせぬか▲村で貸家主の筆頭は東拓の分身鴻業公司であるが公司に對する有志會の態度が判然せぬ、先が大頭株から小頭組に及ぶのが當然ではないか▲商店街も折角改築工事に着手したが工場撤廢の爲め將來の見込みが立ぬから返納しますと申出でたと斡旋役の見坊所長「原型に復して返納すれば取次ぎます」とは答へなんだか▲返納しますと云ふ商店街に舊正月が濟んだばかりの昨今、支那大工が入り込んで工事に着手して居る返納するなら綺麗にしてと云ふ意見か、乃至經營者と請負人は沒交涉の結果か、何れにしても合點の行かぬ事態らしい

鞍山

幼稚園問題
近く解決せん

鞍山幼稚園は從來小學校を使用して居たが二學級增設は本社に於て不認可の爲め元消費組合の跡に移轉方を要望して居た處這般三堀庶務課員來鞍し小學校と消費組合跡を調査して離鞍したので近く決定するであらうと

鞍中入學願書受付十五日迄

鞍山中學校の昭和五年度入學志望者願書提出期日は來る十五日まで志望者は至急提出されたしと

鞍小卒業生

鞍山小學校卒業生十九名の志望は昨年に比し上級學校志望者が激減したのが目立つが大體は左の通りである
鞍中二名、長春商二名、大連育成二名、製鐵所五名、撫順炭坑五名、商店一名、指物業一名、理髮業一名

門井畫伯來鞍

鞍山柳町門井區長の甥門井掬水氏は帝展に六回入選した美人畫の妙手で八日來鞍したが近く個人展覽會を開催すると

貔子窩

李家屯の移住者
近く來着せん

堅實なる邦人農業者の移住土着を圖るべく設立された大連農事會社李家屯農區は昨年秋より愈々本月中には移住の模樣である、李家屯農區は移住戶數五十餘戶で本年會社との契約成り實際の移住戶數は不明であるが、既に解氷期も近まり支人農業者も肥料の搬出に着手したのであるから百折不撓の精神を以て臨む移住者が着手に遲れぬ樣一日も早く現地に着し實際の諸研究が必要である

吉林

省內自治を目標に
民政廳で積極的設備
七月からは宣誓登記辦法を

吉林省政府民政廳に於ては各縣鄕村自治の積極的進行を圖るため既に縣治人員訓練所を開設し村正指導員及村長等の必要なる教育を實施中であるが其卒業を俟つて本年七月より、鄕鎭閭鄰分劃辦法を實施し鄕鎭公民宣誓登記辦法を實行することになつた、右宣誓登記辦法の大要は

（一）誓別　宣誓は定期、臨時の二種とし、定期宣誓は鄕鎭公所が毎年鄕鎭大會を開催し其資格を調査した上で召集擧行す、臨時宣誓は人民に急速宣誓を要する事情ある時之を行ふ
（二）誓禮　宣誓の典禮であつて鄕鎭公所に於て鄕長鎭長を主席として之を行ふ
（三）誓詞　人民が宣誓前に鄕鎭公所に到り署名の上次の誓詞を上納して證據となす
「誠心誠意衆に對し宣誓す、自今舊を去りて更新し自立の國民として盡忠竭力中華民國を擁護し三民主義を實行し五權憲法を採用し努めて政治を修明ならしめ人民を安樂ならしめ國基を永固に措き世界の和平を維らん事を誓ふ
（四）宣誓典禮の儀式
（五）登記　人民の宣誓後は鄕、鎭公所に公民名簿を備付けて鄕鎭の公民を登記す、公民の轉住又は死亡の時は鄕鎭公所に於て其登記を取消すものとす

熊岳城

農場試作方案會議

滿鐵農務課では十三日より約一週間に亘り熊岳城農事試驗場に於て昭和五年度試驗場（公主嶺熊岳城）事業打合會議並に沿線各地試作場の事業方案會議を開く事となり滿鐵本社よりは松島農務課長以下各係員出席の上左の日割で各箇所首腦者と協議をなす筈
十三、四、五日（公主嶺熊岳城農事試驗場關係）
十七、八、九日（瓦房店果樹園、苗圃、大石橋アルカリ地試驗場、遼陽棉花試作場、撫順大楡樹水稻採種試作場、大屯開原大豆採種場其他）

獎學資金支給

今回關東廳より傳達された當地小學校に對する恩賜財團獎勵資金は
兒童文庫補助費　金六十圓也
貧困兒童被服費　金二十圓也
右二件につき支給せられた

中等學校志望者

當地小學校に於ける本年度卒業生は尋常科十二名高等科四名而して中等學校入學志望者は左の如し
男子　梅村生三、鈴木義一、岡田滿雄（鞍山中學）ワラジミル（長春商業）
女子　木村秀子、山本幸子、久武道子（旅順高女）飛田ツギノ（撫順高女）萩岡律子（羽衣）葉山春子（家政）
尙本年の新入生は廿四名であると

瓦房店

地方事務特別檢閲

瓦房店地方事務所の特別檢閲は去る十日午前十一日開始され、人事庶務檢閲班小野寺人事主任、松浦文書主任、上村社會主任、丸山社宅係、經理檢閲は清水經理主任、三堀岸農務檢閲は藤田主任で午後三時終了したが昨年に比し改善の跡著るしく成績優秀であつたと

上村氏講演會

農務檢閲の爲め來瓦した上村哲彌氏の昨冬京都に於ける汎太平洋會議講演は二月十日午後三時より小學校に於て開催、聽講者は定刻前既に滿場立錐の餘地なき盛會、上村氏の講演は同會議の實狀を如實に物語り多大の感動を與へて午後五時半閉會した

高橋夫人產婆開業

瓦房店驛前高橋誠正堂藥房主高橋能克氏の令閨フヨ子は二月十日午後六時より自宅に新聞關係及知己數名を招待し產婆開業披露の宴を催した

探偵小說 女妖（13）

江戶川亂步 作
橫溝正史
伊藤幾久造 畫

死人の横顔（三）

ヴエールの婦人は間もなく問題の硝子張の前までやつて來た。さすがに彼女はいきなり死體の顔を見る勇氣はなかつたらしく、暫くもじ／＼としてゐたが、
「おい／＼、早くしねえな、後がつかへてゐるんだぜ」
と誰やら後の方から野卑な聲で怒鳴られてハツとして面を擧げた拍子に、彼女の眼は偶然死體の顔にぶつかつた。
「まあ、恐ろしい！これが……」
と彼女は我にもなく呟いたが、直ぐに氣がついて後は口の中で揉み消して了ふと、周章てゝ邊りを見廻した。幸ひ誰も彼女の獨り語を聞いたものはなさゝうである。
彼女はもう一度死體の顔を見直した。そして何等かを打案じてゐるがやがてほつと胸を撫下したやうに、來る時とは反對に、かなり元氣な步調ですた／＼と陳列所の出口から出て行つた。
それ等の樣子を餘すところなく眺めてゐた蛭田檢事は、今女が出て行くのを見ると、彼も急に氣附いたやうに、先刻の部下を呼寄せると、それに何事かを言ひ含めておいて、自分は秘かに女の跡を尾けて行つた。
然し、この時蛭田檢事が、もう少し此處に居殘つてゐたらもつと彼の好奇心を刺戟するやうな事件を目擊する事が出來た筈であつた。ヴエールの婦人から三間程遲れて、もう一人年若い女が列の中に加はつてゐた。見たところ二十二三の、あまり服裝のよくない、何處かの女事務員といつた風な女であつた。然し、服裝のよくないにも拘らず、その顔はと見ると、これが仲々どうして大した美人だつた。生活のためか、稍窶れてゐるところはあるが、切長な目は水晶のやうな潤い光りを宿して、何處かに冒しがたい氣品を見せてゐる。これも生活と闘ふ必要からであらう、勝氣らしくきりりと引緊つてゐるが、微笑めば其處に千萬無量の愛嬌が漲ふかと思はれる顎から頬、頬から顎へかけての線は、それこそ大畫伯の筆もこれには及びがたいと思はれる程だ。鬢は輝くばかりの金髮で、帽子を脫げば必ず肩のあたりまで垂れる事だらう。どうしてこんな女が、この恐ろしい死體陳列所などへやつて來たのだらう――。彼女の前後にゐる人々は、みんなさうした疑念を懷きながら、時々目映さうに彼女の顔を偸み見るのだつた。
間もなく彼女の番がやつて來た。硝子張りの側まで來ると、彼女の足は釘づけされたやうに、暫く動かなかつたが、後から押れるまゝに、仕方なしに彼女は恐ろしい硝子張りの前まで來た。
彼女は一寸恐ろしさに身顫ひをした。そして哀願するやうに背後に立つてゐる老紳士の顔を見上げた。その眼には、何故自分はこんな所へやつて來たのだらう。お願ひですからこれを見ないで歸して下さいと言つてゐるやうだつた。
「どうかしましたか。御氣分でも惡いのじやありませんか」
先刻から彼女の樣子にそれとなく氣を配つてゐた老紳士は優しくさう問ひかけた。
「いいえ、あたし……」
彼女はさう訊ねられて、さつと頰を紅らめると急いで顔を外向けた。その拍子にふと硝子張りの中の死體の顔にぶつかると、
「アレ！恐ろしい！」
と叫んで、思はず老紳士の腕に縋りついた。
「どうしました、何も恐ろしい事はありませんよ。それともあなたのお心當りの方でも……」
「いいえ、いいえ、そんな事はありませんけれど……」
女はさう云ひながら、恐る／＼視線をもう一度死體の方へ向けたが、今度は先刻のやうに直ぐそれを外向けようとはせずに、反對に何事か深く感動したやうに、まるで釘づけにされたやうに凝つと死體の顔を見入つてゐたが、何を見附けたのか、突然、
「あつ！」
と叫ぶと、老紳士の腕の中に氣を失つて倒れかゝつた。

南征雜錄（100）

難波勝治

イロイロ港

斯く全島に農業的開發が行き渡り、同時に交通設備の整頓しつゝあるセブが、漸次工業方面に發達すべきは蓋し自然の數であらう、同島百餘萬の住民はビサヤ諸島中最も早く文化の餘澤を受けた關係上、工業的投資を思ひ立つには比較的能力ある勞働者を得易い。目下は前記のナカに於ける

セメント 工場と、和和三年作業を開始したタリセイの製糖會社の外、別に大規模の製造業に手を着けて居ないが、西海岸のメリリ及びピナムンカアンは煙草の本場として廣く知られ、對岸ネグロス島のバイス、トマゲット、及びギウルンガンなど、亦農產物並びに加工業の有望地と目されて居る、併しネグロス島に於ける繁榮の中樞は北海部地方に在つて、所謂、オクシデンタル・ネグロスの名稱の下に、サン・カルロス、エスカランテ、バゴ、シレイ、ラ・カルロタ、バコロドなど

人口二萬 乃至五萬の小都會が集合し、物資の對外的集散亦ギマラス島を隔てゝ近接するイロイロ港に於てなされる、後者はヒリツピン群島中第三の都市で、生產物の多いパナイ島の東南隅に位し、人口六萬餘、我が郵船及び商船が毎航出入する良港灣である、國際貿易眼から見たヒリツピンの中心市場は之を三分し得る、即ち北部ルスン島に於けるマニラと、中南兩部に於けるセブ及びイロイロがそれであつて、後二者の勢力は現在では相伯仲して居る、ビサヤ群島の內面及び北部ミンダナオ諸地が、セブ港と

不可離の 關係に繋れて居るやうに、パナイと北西ネグロスとは頗る密接な利害が結ばれて居る、就中パナイ島は砂糖工業の非常に發達した土地で、比島中製糖會社の主なる者は大抵此地に集合し、群島全產額の五割以上がイロイロから積出される、試みに千九百二十七年度の主要甘蔗生產州と其

耕作面積 及び收穫量を擧ぐれば左の通りである（面積ヘクタル、取量千基瓦）

州名	面積	收穫量
西部ネグロス	六九,七〇〇	三三八,三〇七
イロイロ	一三,〇七〇	二四,三三三
パンパンガ	二三,六九四	八九,一四〇
バタンガス	二四,四九〇	四〇,七〇二
ラグウナ	八,四二〇	二七,三一五
タルラック	一〇,六一〇	三三,三三三
東部ネグロス	四,五六〇	三三,三二九
南部イロコス	一一,三〇〇	一五,九九〇

右表に依れば西部ネグロス及びイロイロ兩地の耕作面積は、他の六州に比して一萬九百ヘクタレス少なきも

收穫量は 却つて四千四百萬基瓦多い、以てこの方面の砂糖工業及び貿易の根抵を察するに餘りあるが、イロイロ州には砂糖の外に玉蜀黍、煙草、麻等の產物に富み、且つピニヤ、フシ、シナマイ等の纖維織物及び麻製品をも多額に輸出する、千九百二十七年度のイロイロ港に於ける貿易額輸出七千七百三十六萬餘ペソ、輸入千百五十九萬ペソ、合計八千八百九十五萬ペソであつて、之を四年度のセブ港に比すれば千九百十八萬七千ペソ多く、マニラに次で群島中の第二位を占めて居るが、左に兩港の主なる

輸出入品 と其價額とを比較撮職して見やう、即ち輸入に於て（單位ペソ）

品種	イロイロ港	セブ港
肥料	二,七五〇,八〇四	—
鐵鋼及鐵	—	一,八〇二,一〇七
同製品	一,三五五,八〇四	—
綿製品	一,一四二,三六一	一,七三二,〇八七
麻袋及附屬品	一,〇六三,八二八	—
小麥粉	九四四,四〇三	一,七三八,六〇七
石油類	七四四,六〇四	一,五四二,八六五
米	—	五〇九,三五五
其他	三,三五八,一三三	四,五九〇,六九三
合計	一一,五九〇,〇〇七	一一,九四四,八〇四

輸出に於て

品種	イロイロ港	セブ港
砂糖	七二,四三三,八〇四	—
粗糖	二,二三五,八六一	四,〇八〇,八六六
コプラ	一,五八三,五三六	一二,三三七,四一三
アバカ麻	—	一七,〇八八,〇〇八
椰子油	—	九,四八五,一〇九
マゲイ	—	三,一〇一,五一九
葉煙草	—	一,〇一一,一五七
木材	二,〇九五,八〇六	—
其他	三一,七七六	一,六五一,一四九
合計	七七,三六〇,七六三	五七,八六八,三三〇

であつたが、この表に依つても砂糖がイロイロ港の生命である事が判る、又

パナイ島 には八十哩の鐵道があつて、イロイロ港への交通に便じて居るが、原料品の豐富な點はセブの方が遙かに立優つて居る、唯特筆したいのはパナイ島に於ける在住邦人の活動で、千九百二十五年度の調査によれば其數五百六十三名と註せられる（寫眞はセブ島の海岸椰子樹林）

旅順博物館（三）を世界的に

關東廳に切望す

小村俊夫

旅順博物館の價値に就て述ぶべきことは尠少くないのであるが、如此立派な博物館を有し乍ら旅大の同胞は存外無感覺である。流石に本國の同胞は眼識が高くて高いとも申すべきか、心ある者は此の如き立派な博物館がこれまで永く人知れず旅順に埋れてゐたことを寧ろ不思議なことに思つて居る。博物館が貴重なる資料を死藏するほど馬鹿氣たことはないが、旅順の博物館は稍それに似たことを今まで平氣でやつて來たのである。

◇

これは明かに關東廳の失態でもあるし、また從來此方面に冷淡であつた旅大の同胞も、またその一半の責任は負はなければなるまい博物館を旅順に置くことに就いては多少の異論もあるが今はそれに觸れぬことにする。また博物館をこの儘關東廳の經營に委すべきか將また他に移管すべきかに就いても今はすべて言及しないことゝしこれからこの博物館を如何に整備してもつと世界的ならしめるか、如何にして從來の弊風を一掃すべきか、以下それに就て少しく愚見を述べ、その實現の日の一日も速かならむことを期したいと思ふのである。

◇

偖改革の第一歩は、先づ眞僞不明の陳列品をば遠慮なく別室に逐り込むことである。由來古器物に就ての眞僞の鑑定は甚だ困難なる場合が多いが、學者の大多數が首を傾けるやうな物品は姑くその出陳は見合せすべきである。不幸にして旅順博物館は此種の陳列品が存在しないとは言へない。それが何某の出品であるやを問ふの要はないのである。出品者が何人であつても介意はない。學術上の最高權威を以てそれを卒直に裁斷すればそれでよいのである。若し博物館が不幸にしてこの權威を失墜すれば、博物館は骨董屋の店頭と甲乙なきものとなるであらう彼は商賣であるがこれは世を欺き、初心の學徒をして重大なる誤謬に陷らしむるものである。

◇

世人はまた往々にして僞物嫌ひし過ぎるけれども、僞物は後代の模造品として一種の參考資料たり得るもので、參考資料室の如きものを設けて篤學の士の參考に供すべきものである。博物館が出陳者の如何によつて博物館自體の權威を傷けるやうなことをするのは如何にも不可解千萬なことであつて旅順にはかゝる學術を無視するやうな背德行爲が全く行はれて居ないかどうか、學者は須らく心を平かにしてその出陳を正視するの必要があると思ふのである。

總選擧に注目する 華人の識者連

民政黨に好感を有つ

【天津發】民政黨勝つか、政友會敗れるか、將また內紛止まない無產黨の進出振は如何、在津日本通の支那識者は邦人に劣らぬ興味を有つて我が總選擧を睨めてゐる、有體に言つて吾々が閻、蔣の對時や改組派の潛航飛躍に少なからぬ研究的感興を感じると同樣に、彼等が日本の新聞を熟讀して總選擧に張膽明目してゐるのは、我社の販次店日光堂主人が『最近メッキリ日本の新聞が支那側に增へました』と語つてゐるのに徵して之を知ることが出來る、日本の對支政策が支那の興論界に

◇**一大衝動** を與へたのは大隈內閣の所謂二十一條問題で、當時老獪なる袁世凱其地位保全の見地から民黨壓迫の道具に之を使用し、例の教科書事件まで惹起した、屆霜十餘年民黨は今や天下に號令し、大隈系の民政黨も亦政權を握つてゐるから因緣は奇しきもの、袁世凱と教科書で二十一條を魔のやうに敎へられた少年は輙て五四運動の花形となり、今は

◇**黨部重鎭** で、排日は愛國の題目となつて了つた、然るに原敬が起つて有名な不干涉主義をかざし對支政策の處女地を開拓するや、支那の興論界は之を非常に歡迎し、大正九年の總選擧には、上海の中華新報を先鋒として、政友會の大勝利を祈つたものであるこの頃から南北の各紙は多く日本の政戰を論評し始めたが、憲政會は二十一條で甚だしく不評であつた、所が田中大將が政友會に飛込んでからは興論は一變、大將再三の出兵には遂の支那識者も呆れ果て打倒田中內閣なる珍妙なスローガンが

◇**徐州城頭** に貼出されるに至り前次の總選擧には支那の興論は一齊に民政黨の勝利を望んだものである、今回は好意を有つ民政黨內閣ではあるが、其政敵たる犬養、床次氏等が多年民黨を援助した人々なので、極端な民政黨擁護論は今尚現れないが、一部排日紙は、依然として田中外交を云爲してゐるもの〻、多數日本通識者からの問題にされてゐない、唯注目すべきは前記識者間に、無產黨の進出、政界淨化、選擧民の態度等に非常に注目し輙々に豫測を爲さない向と、政民共に絕對過數は難しく結局ドイツのやうに小黨林立、政變頻出の結果支那に種々の影響を與へるだらうと觀る向との二派がある事である

家庭とコドモ

海外寫眞ニュース

ふわ〳〵と天に昇る 珍趣向の大人形

何んでもかんでも人の度膽を拔かなければ承知しないヤンキーの餘興はいつでも奇拔だ。これはある祭日の餘興、町の中を引つ張り廻してゐるのは高さ三十尺もあらうといふ素晴らしく大きな人形で中にはヘリウム瓦斯を一ぱいつめこんであるから綱を放せばふわ〳〵と昇天しやうといふ珍趣向、こんなものをこしらへてむやみに嬉しがつて居るところにヤンキーの面目が躍如としてゐる。

私は茲に……新問題を提供す
優等生劣等生問題
大連商業學校　園山良之助

三

斯くて四年以下位の兒童を、おしなべて優等生劣等生の統計に作り上げることはむづかしいことであるのだ。私は確く信じて疑はぬ

◇この時代の　兒童が、教師から優等生、劣等生と決定されることが、如何にその子供の一生涯に幸福であり不幸であるか、又父兄の幸福であり不幸であるか「一生涯」といふ。低學年時代の學修興味は、直ちに人間一生涯に關係するほど力强い、即ち中等教育以上の學習に非常に大きな結果を齎すのである。教師は誰れも經驗してゐることであるが、低學年（小學校でも中等學校でも）では何うした拍子か時に意想外の好成績を表はすことがある。此の所に私だちは深い教育者的内省を促された。何人もこの間の

◇消息を考へ　工夫するのであるが、實は中々何十人の學級教育では、眞に個人々々の個性に適當した教育を施すことはむづかしい。わるくなつたのを救濟するの至難、よい子供を益々助長してやることの手數。考へれば考へる程教育者の仕事は難中の難事である。私は眞に理想をのみいふてゐるのではない。斯くて或る兒童の一人一人をば、これは優等生、これは劣等生と決定し、又表示し得るであらうか。然かく決定することは、實に身の毛もよだつほどに恐ろしい責任感である。

四

さて、いくら指導してもよくならないものは劣等生、ほつておいてもよくやるものを優等生ときめて統計を作らうとする。するとむかし私のやつた樣に、何點以上何點以下ときめねば決定されない。しかし

◇このことは　よく考へて見ると、八十九點と九十點と三十九點と四十點とのはじめは實は妙なものではあるまいか（いくら妙でもそうしなければ優中劣の區別は決められぬではないかといへば話はそれまでだ）そうして決めたところで實は人間の優れた人と劣等な人といふものはさう簡單に表示されるものではあるまいと思ふが如何であらう。

五

次に又この統計が或級々を單位として優劣を決めてあるとしたら又一つの問題が起る

◇その級の中　には年齡の一年又は二年長じた兒童が居はせぬか。或父兄がその教育方針から學齡を一年後らせて入學させたとしたら、その子供は、入學直ちに學校作業の全般に就いて其級中の所謂優等生たることは疑ひを容れないことである。この點について統計としては考量に入れねばなるまい（未完）

おはなし　四十人の盜賊（11）
大瀧胖譯

「私の歩いた經驗からこゝが昨日の家にちがひありません」そこで盜賊は白墨で扉に印をつけてからマスタツフアの目かくしを取りました。

「一體これは誰の家かね」と尋ねました。

「私はこの邊は初めてですから誰の家か知りません」と答へました盜賊はそれ以上この紀直しに尋ねても駄目だと思つて約束の金を與へて大急ぎで山に歸つて、行きました。しばらくしてモルヂアナが使ひから歸つて見ますと白墨の印に目をつけました。

「誰がこんなことをしたのでせうかしらときつと御主人の敵が目じるしをつけたのかも知れない」と思つて大急ぎで白墨を持つて來て近處の家に同じ樣な印をつけてだまつてゐました。

さつきの盜賊は得意になつて仲間に話しました直ちに團長と二人して街の印をつけた家までやつて來ました。

通りに來ましたとき盜賊は白墨を指さしました。けれども團長は同じ樣なちつとも違はない印が方々の家にあるのを見つけましたので自慢してゐた男は自分のつけた印を識別することが出來なく頭が混亂してしまひました。彼は約束通り山につれられて行き殺されてしまひました。

毛織物の漂白の仕方

毛織物のひどく汚れたものは漂白を行ひます。その方法は次の樣にすれば良いのです。先づ水一升に對して酸性亞硫酸曹達凡そ大匙四杯、及酸性亞鉛末を小匙二杯の割合に混ぜ合せた液を作り、亞鉛末と、亞硫酸ソーダとが化合して、亞鉛末の消失するのを待つて

汚れた布を入れ、暫時の間浸しておきます。やがて漂白するのをまつて布を液からひき出し洗滌法を行ふのであります。洗滌液は微温湯一升に對してマルセル石鹸或ひはラックス石鹸三匁乃至八匁——これは汚れの程度で加減します。それに更にアムモニヤ水を入れて、少々臭い位にします。此の液に漂白された布を浸して汚れをよく振り出し、なほ取れない汚れはつかみ洗ひをして除きます。それが終つたなら、新しい右の樣な液を拵へ凡そ一時間位浸しておきよくゆすぎます。そして更に醋酸を少々すつぱい位に入れた水液に浸してからそれをしぼらずに風通しの良い處に干しておきます。若し色物の布ならば蔭干しにしなければなりません。これが半乾きになるのを待つてアイロンで仕上げをすればよいのです。

テレビジヨン

▽臺灣高雄市内を一匹の野犬が鋭利な刃物で切斷したと覺しき血に塗れた嬰兒の生首を咥へてうろ〳〵してゐるのを發見、警察では近頃奇怪なる事件として活動を開始した

▽日本航空輸送會社で東京大阪間の空のお客さんの年齡と職業別を統計したのによると最年長は七十八歳の爺さん、最年少はお母さんに抱かれすや〳〵寢通して來た赤ちやん、婦人は全體の約一割、最も多いのは三十歳前後で、文士と畫家が外國人と殆ど同數だつた

▽長岡市千手小學校の三年生皆川ハナ（一〇）は教室のストーブにあたりながら編物をしてゐる中毛糸に火がうつり生不動となつて遂に死亡、職員の看護不行屆きとあつて問題となつてゐる。

▽全國珍名番附の橫綱格、奈良縣矢田村に住む「澤井魔呂鬼久壽老八軍千代子孃」、今年廿歳の花恥しい娘さん、我名に耐りかね單に「千代子」と改名を願ひ出たジゲムも跣足の長名だ

▽貧しい日稼者の妻が子供に與へなければならぬ二十錢の學用品代欲しさに屑拾ひに出かけたが思ふやうに屑が拾へぬのでつひ惡心を起し、不在の某家に忍び入り金品を物色中御用となつた憐れな母親が神戸にあつた。

けふの放送
實用支那語會話　第三十九（其二）

1 客齊了麼
2 都來了、拿酒來
3 喝甚麼酒
4 老酒跟清酒
5 不要啤酒麼
6 等一會兒再說
7 是是
8 還兒短一個酒杯
9 我就拿來
10 快來酒

同上（其二）

1 酒來了
2 再拿兩瓶汽水
3 要甚麼牌子的
4 甚麼的都行
5 那位要
6 他們兩位當客
7 不要別的了麼
8 再來一雙筷子
9 就來
10 我來斟酒

譯文（其一）

1 お客様はお揃に成りましたか
2 皆來られた、酒を持つて來なさい
3 御酒は何を召上ります
4 老酒と淸酒を
5 ビールは宜しう御座いますか
6 後からの話にしやう
7 ヘイヘイ
8 此處に盃が一つ足らない
9 直ぐ持つて參ります
10 速く酒を持つて來なさい

同上（其二）

1 御酒が參りました
2 サイダーをモウ二瓶持つて來て
3 何印のに致しませう
4 何のでも宜しい
5 どなたが召上ります
6 あの二人の御婦人が
7 外に御入用有りませんか
8 モウ一膳箸を持つて來て
9 直ぐ持つて參ります
10 私が一つお酌しませう

（字新）・啤、杯。汽・雙、筷・斟。

緊縮節約に關する兒童の心得（二）
大連朝日小學校作製案

◇品物の取扱方

1、机、腰掛の取扱に注意しませう
2、水道の水は使つたらすぐせんをしめませう
3、水は必要の量だけ使つてむだにせぬ樣心がけませう
4、電燈は不用になつたらすぐ消しませう
5、機械、器具はこはさぬ樣によく氣をつけませう
イ、手工室、圖畫室の用具をこはさぬ樣にしませう
ロ、理科の標本機械等はよく氣をつけて大切に取扱ひませう
ハ、圖書室の書物は出し入れに注意して丁寧に取扱ひませう
6、窓硝子高價な物ですからこはさぬ樣に氣をつけませう
7、書物は大切な寶ですから丁寧に取扱ひませう
8、瀨戸物、硝子、石膏細工はこはれ易いからよく注意して取扱ひませう
9、地圖、掛圖は破れ易いからよく注意して取扱ひませう

大チヤンノモウジウガリ（28）
ハルミチ作　ジラウ畫

ジドウシヤ ハ ヤケツクヤウナ ノハラヲ ホリヌケ キミノワルイ ヌマ ヲ ワタリ、ケハシイ ヤマ ヲ コエテ ソノヒノ ユフガタ ゴロ トアル キノ シゲミノ アルトコロ ニ ツキマシタ。ソコニハ ソレハ ソレハ キレイ ナ ミヅ ガ ワキデテキマシタ。

ト「サア、ケフノ オヤド ハ コノ キノシタダ」フタリ ハ ヤシノキ ノ シゲミ ニ ジドウシヤ ヲ イレテ、ココテ イチヤヲ アカスコトニ ナリマシタ。アツイクニ ノ ユフヒハ キンイロ ニ カガヤイテ ダンダン クレカカリ マス。」

アイフは慢性胃腸病に對する絶對的最良藥なり
頑固なる慢性胃腸病には断乎としてアイフを服用せられよ
THE AIFU
アイフ
◉食慾進まず胸先痞へ嘔つき嘈雜出で
◉腹はり放屁多く出でゴロゴロと鳴り
◉滋養物を食するも身につかず身體衰弱し
◉肺尖肋膜に故障を起し咳や熱出で
◉重症にて痛み甚しく便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用せられよ。アイフは内服と同時に其の主藥は腸胃内壁に於ける糜爛面に附着し炎症を鎭め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減じ腸の蠕動を制し下痢を止め痛を鎭靜す故に食慾を增加し血色を良くし榮養の吸收を佳良にし健康を著しく增進せしむるの効果を有す
慢性胃腸病にて
從來の種々の藥を服用するも効なく外觀には左程大病らしく見へざるも胃腸内壁には恐ろしき疵やたゞれを生じ
◉下痢や軟便にて便に粘液膿汁を混じ
◉胃酸過多症にて食前食後に胃部痛み
◉元氣衰へ顔色悪しく神經過敏となり
◉飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し
アイフを服用すべき病名
◉急性腸加答兒 ◉慢性腸加答兒 ◉大腸加答兒 ◉慢性下痢 ◉粘液性下痢 ◉腸潰瘍 ◉下痢性慢性盲腸炎 ◉急性胃加答兒 ◉慢性胃加答兒 ◉胃酸過多症 ◉胃アトニー ◉胃擴張 ◉初期胃癌及び胃潰瘍
アイフ藥價
普通アイフ 四日分 七十五錢 八日分 一圓五十錢 十七日分 三圓 四十五日分 七圓
重症用特製 十一日分 五圓 二十三日分 十圓 三十六日分 十五圓 八十日分 三十圓
發賣本舗 順和公司
大阪東區清水谷西之町三六五番地
振替大阪三四五番 電話東(五〇〇〇 五〇〇二 五〇〇三)
大連市山縣通 順和公司大連支店

大連市場聯盟の組織罷りならぬ
設立趣意書に不穩文字を羅列 市役所から嚴重警告

大連公設市場組合や信濃町市場商人組合などが中心になり市場改善の組織研究や重大なる對外策の確立並に處置、卸賣市場と小賣市場との聯絡その他を目的とし大連市中に散在してゐる各種市場を以つて一丸となし大連市場聯盟なるものを設置すべく各關係者によつて運動されてゐた、併し右は數年前五友會が遊興税問題に反對の狼火を擧げた如く近くは信濃町市場商人組合が一牛肉店舖貸下げに反對の決議を行つたが如く、市場相互の親善連絡の美名に隱れ一種の團體力により自衞的の反抗態度を採り市當局を左右せん手段行爲と見られてゐたが、聯せる該市役所に屆けて來た設立趣旨書に依ると市當局が當然爲すべき業務に對し越權行爲があるのみか、明かに自衞上の立場から見て……云々の不穩文字も羅列されてゐるので十二日市當局は右に對し組織罷りならぬと嚴重警告を發する處あつた

對支文化事業協定を撤廢
日支會議開催の運び

【上海十二日發電】外交部は駐日公使汪榮寶氏に對し日本の對支文化事業協定撤廢方を日本に交涉せしめてゐたが、汪公使から外交部に到達した報告に依れば汪氏は我が外務省亞細亞局と交涉の結果日本は既に文化事業協定撤廢[illegible]協議に關する日支會議開催に同意した趣きにて、汪公使より敎育部に於て交涉の準備をされ度いと求めて來たので、國民政府は直ちに準備に着手した

芳澤大使親任式

【東京十二日發電】十二日午前九時四十五分宮中に於て濱口首相侍立の上特命全權公使芳澤謙吉氏に對し別項の如く駐佛大使親任の式を擧げられた

特命全權公使 從三位勳一等 芳澤謙吉
任特命全權大使 佛國駐箚被仰付

第二の本田彌一郎捕はる

【大阪十二日發電】去る七日供託金を積み今にも立候補する如く見せかけ選擧界に大惑亂を捲起した所謂第二の本田彌一郎は八日以來行方を晦ましてゐたが、十一日京都市內の旅館に潛伏中を逮捕され大阪に護送し選擧妨害の疑ひで嚴重取調をなしてゐるが、同姓同名を賣物に一儲けせんとしたものらしい

故三輪氏叙位

【東京十二日發電】最近に立候補中急死した前代議士三輪市太郎氏に對し本日左の御沙汰あつた

叙從五位 勳三等 三輪市太郎

昭憲皇太后祭日に 盛大な女子競技
神宮體育大會と對立 女生三萬人を集めて

【東京十二日發電】昭憲皇太后奉祝會は四月十一日の祭日に御盛德を仰ぐため盛大な女子體育會を開くこととなり十三日東京府下各公私立女子中等學校、小學校に參加を勸誘することとなつた、之は秋の明治神宮體育會に對立して神宮外苑に女生徒三萬を集めて團體競技其の他を行ふものである

暖き日

米比人の結婚禁止
加州に於て

【ロスアンゼルス十一日發電】米人と比律賓人との結婚は加州法律の解釋上禁止されることとなつた蓋し比律賓人、馬來人は如何に近代的敎養を持つてゐても人類學上之等の人々はまさに蒙古人種だとの見解を檢事が採用して、ロビンソン夫人が其の娘と比律賓人モレノとの婚姻訴訟に依り夫人の訴への理由を認めた、なほ米人婦人にして比律賓人と結婚同棲せる者は百餘組に達してゐる

興業債券發行

【東京十二日發電】日本興業銀行は借替のため百三十一回債券一千萬圓を發行した

信濃町市場組合へ決議取消を命令
牛肉店鋪貸下問題で 昨日大連市役所から

大連市役所が信濃町市場舊事務所跡を山田常吉氏に牛肉店舖として貸下げた事實に對し、同市場組合では右舊事務所跡を市當局に明渡さぬのみか反對の決議まで行ひ之を突きつける等不穩の行動に出てゐたが、市當局は飽くまで既定の方針に進む可く十二日午後一時和田、西園正副組合長を呼出し右決議の取消を命ずる處あつた、尚山田氏の據賣せんとする牛肉に對し品質粗惡なりと宣傳してゐる向きあるが、肉の硬軟は屠殺後に於ける日數に依つて變化あり、現に市場內で販賣してゐる牛肉も同じ滿洲產なれば善惡を鑑別し難き狀態にあり、市役所には斯る惡宣傳をなして肉價の維持を圖り暴利を貪らんとするは市民を毒するも甚しとまで投書して來る向きもあるので、市當局は肉の品質に就いて斯くまで八釜しく云ふなら一々販賣肉の分析試驗を行ひ營養分のパーセンテージで賣らねばなるまいと彼等の反對を一笑に附してゐる

聖上御避寒
きのふ葉山へ

【東京十二日發電】紀元節御親祭のため還幸あらせられた天皇陛下には、十二日午前十時三十五分東京驛發特別列車にて再び御避寒のため葉山御用邸に行幸あらせられた

高松宮兩殿下
多摩陵御參拜

【東京十二日發電】高松宮同妃兩殿下には十二日午前九時二十分自動車に御同乘、多摩御陵に成らせられ御父陛下の御靈に御婚儀を御報告あらせられ午後一時御歸邸あらせられた

三木氏の取調

【東京十二日發電】前代議士三木武吉氏は十二日午前九時東京地方裁判所に召喚され、大塚豫審判事の取調べを受けて正午歸宅を許された

支那海賊團 南支那海を荒す
龍神丸の海難報告

南支那海を根據とする支那海賊團の橫行は同方面航行の諸船舶にとつて一つの脅威とされてゐるが、十二日管船局より當地海務局への海難報告によると大連港置籍船龍神丸（千四百九十六噸、船長山崎岩助氏）は昨年十二月一日石炭九百五十噸を積載のうへ香港を出帆廣東に向つたが

航行中 濃いガスの襲ふところとなり遂には一寸先すら見分け難き有樣となりそのうちに午後六時五分淺瀨に乘上げ船舶の行動の自由を奪はれたので滿潮を待つて離洲を計つたが、この間に海賊の來襲を恐れ無電をもつて軍艦宇治に護衞方を賴み結局新谷大尉は十一名の帝國軍人の警戒裡に無事なるを得辛うじて離洲し廣東に入つたが、運惡く同船は同月廿一日香港より廣浦に向け航行中再び坐洲し左舷大錨を船尾に投入滿潮に乘つて

離洲を 計り支那兵四名を雇ひ入れて警戒せしめてゐたところ、廿二日午後二時ごろ二十名よりなる支那海賊が二隻の小船に分乘小銃の猛射をあびせかけ遂には本船に乘移り海圖室より船員室さては船長の部屋へ暴れ込みカーテン一枚に至るまで掠奪し凱歌をあげて引あげた、その損害三千五百餘圓、同船では海賊の逃れるのを知ると共に無電をもつて軍艦宇治の急援を乞ひ漸く目的地に入港したが、殆ど同時に大連松浦靜夫所有廣發丸も同樣同月廿四日同地において坐洲危く

海賊の 襲來を受け樣として積荷約六十噸を犧牲にして船脚を輕くし離洲のうへ目的地汕頭に入港したといふ、この外支那汽船の被害を受けるものなほ今日でも續出してゐる由で今後その地航行船舶は相當注意されたいと

山岡鐵舟の孫へ破產宣告の申立
二萬四千餘圓を支拂はぬ…と 尾羽打ち枯した鐵雄子爵

【東京十二日發電】維新の英傑山岡鐵舟直系の孫に當る牛込神樂町二ノ一七子爵山岡鐵雄氏は、麻布新堀町水谷捨吉から昭和三年一月二十七日二萬四千四十圓を借用したのが期限に至るも返濟出來ず利子も支拂はぬため十二日水谷より東京區裁判所に破產宣告の申立をされた、鐵雄氏は差押へ執行の際も縕袍一枚あつたのみと云ふ慘めさであつた

三八式騎兵銃の銃身を密輸
便利瓦包みから發見 出所によつては事件擴大

ばいかる丸前航入港の積荷中奉天行便利瓦包より三八式騎兵銃の銃身のみ五十一挺を當地海關にて發見直ちに水上署に手配するところあつたが、同包は差出人大阪、荷受人奉天とあるのみで全然不明だが水上署では早速奉天、大阪、神戶等の官憲に手配犯人搜査を行ふところあつた、しかるに未だ何等吉報に接しないが元來軍隊銃の拂下げは容易でない關係上その銃の出先の如何によつては相當問題は重大化するであらうといはれてゐる

水先案內人と滿鐵の關係
『別に不合理ではない』と 羽田事務所長語る

從來大連港水先人は關東州水先規則によつて種々なる有資格者にして關東廳の認可を得たものがこれに當りつゝあるが、大連港水先人は從來より滿鐵側よりこれが生活保證を受け出入船發着手數料の一部に加算して水先料金を徵收これを水先組合に與へてゐたものであるが、最近この水先が滿鐵の使用人にあらずして

使用人の如 き待遇を受けつゝあるが頗る不合理だとの說が各方面で唱へられ、關東廳と水先の關係が判然としてゐる以上滿鐵と水先人との關係も更に判然として置くのが妥當ではないかと云ふのであるが、右につき羽田鐵道事務所長の意見を聽くと

別に不合理はないと思ふ、滿鐵ではこの方法が一番好いと思つてやつてゐるので、元來こゝの水先は一種の官業と見ても差支えないもので、本當ならばたとへ強制水先としたところが關東廳よりこれが指導料を取るのが當然であるが、便宜上滿鐵がこれに代つてやつてゐるものに過ぎない、勿論規則の上で

改良を加へ なくてはならない點もないではなからうがこの際問題にすべきでない

尚海務局江原港務課長は右に對し

大連の水先規則は實に立派なもので內地一流港灣でもこの制度に準據してゐる位で獨逸邊りの最も理想的な水先法も略關東州に似てをる樣な譯である、只問題は水先人と滿鐵の間がどんな工合になつてゐるかと云ふにあつて、これ極言すれば水先人は關東廳認可の民間營業として獨立すべき性質のものではなからうかと思はれる、要するにこの問題は一應はよく研究する價値はあるだらう

『筋肉勞働も厭はぬ』……だが、傭ひ手がない
近ごろの男子失職者の新傾向 羨しい女中の需要

客年末調査の結果二千餘人と目された邦人失業者は年明けていよいよその數を增して最近の智光院宿泊所は毎日五十人前後、社會館には定員六十四人が毎日滿員といふ有難くない

盛況振り を見せ、時には宿泊を斷つてゐる程である、今社會館職業紹介所から就職狀況を觀つて見る、本年一月中の求職者は男七十四名、女十六名に對し求人男三十九名、女九名で就職數は僅に男二十六名、女七名、男子は殆ど全部店員、ボーイ、女は女中に限られて居り知識階級の求人は絕無といつてよい、社會館では力行會が正會員卅五名、補缺員十名で仕事を遣つてゐるので同所宿泊の四分の三は職業があるわけ、これも最近希望者が多く資本の關係上全部入會せしめる事が出來ず斷つてゐる時に近ごろ著るしい傾向は邦人求職者が筋肉勞働を厭はず進んで

支那苦力 等と共に勞働する樣になつたことで、目下コンクリート作業に二名就職してゐる、だが雇ふ方では依然邦人勞働者をよろこばないので紹介する方では折角の申出に滿足を與へられず困つてゐる、これに引かへ女の方は求職者より求人の方が遙かに多く現在女中の申込十四人に對し希望者は四名といふ有樣で給料も二十圓前後女の求職者はなかなか選り好みをし鼻息が荒い、右について池原社會館主事は語る

內地の就職率に比し當地は遙かに良好ですが最近邦人求職者も

自覺して 勞働をも厭はないのだが需要が無く困つて居ます、それで本年中には是非男子授產場を設け之等の人々に滿足を與へたいと思つて居ります

使途の判らぬ數萬圓の金
度重なる嚴重な訊問にも 原田氏口を割らず

大連地方法院檢察局池內檢察官は十二日午後三時十分收容中の五品前理事長原田耕一氏を引出し千葉警部檢査中の山なす帳簿及び關係書類を前に嚴重取調べを行つた、右は原田氏の橫領金額中今なほ數萬圓の行方不明に對し之が使途を明かにすべく帳簿を突きつけて訊問を行つた模樣であるが、何故か原田氏は收容以來度重なる嚴重な訊問に對して口を割らず、却つて檢察當局の疑惑を深めてゐる模樣である、一說に右數萬圓は美濃町湖月を根城に十數回に亙り變態した某氏との間に密接なる關連を有するものでないかと云はれてゐる

夜の大連に痴漢出沒
警察で搜査中

江灘海迄は營業を開始してゐる春をめざして夜の街に痴漢が出沒する――宵暗迫るラッシューアワーの職業婦人か活動歸りの婦人と見れば人目も恥ぢず猥褻な振舞ひをする二十四五歳の變態性慾者が最近市中に出沒するとの風評に、大連署司法係では痴漢を搜査してゐる、これから花時にかけ一層この種の犯罪が增加するので今年は殊に早く風紀班を設け風俗淨化に努力すべく保安係でも計畫中である

夫の不在中 姦婦落つ

市內濱町十五番地居住の野崎菊次郎氏所有發動漁船滿千丸船長金明根は去る五日出漁先より歸宅したところ、同人の妻金根禮（三[illegible]）が郵便貯金二百圓を引き出し更に知人より三百圓を借り受け家財道具一切を賣り飛ばして附近に居住の情夫朝鮮人金某と共に逃走行方不明となつてゐるので、金明根は十二日朝沙河口署に搜査願ひを出すと共に兩人を相手取つて告訴した

齊克鐵道
工事を急ぐ

昨年來工事を急いでゐた齊克鐵道は去月末泰安鎭迄の軌條敷設を終りさらに三月中旬迄には克山迄延長を終る豫定で目下各驛の構內の諸設備に忙殺されてゐるが既に龍

撒水自動車と機關車衝突

十二日午前九時半頃埠頭構內第二十二倉庫第廿四倉庫附近において機關車二百六號運轉手幸村秋四郎（三[illegible]）と東道路より疾走して來た撒水自動車運轉手張立清（三[illegible]）が衝突したが自動車側が前輪をメチャメチャにした程度で人畜は異狀なし

フイルム七百本
機關士が密輸を企つ

目下大連埠頭第六番バースに繫留中の長成丸一等機關士原籍山口縣佐波郡松野鐵之進（三[illegible]）は十一日夜市內大山通某寫眞店よりコダックフイルム七百本（價格二百卅圓）を購入何喰はぬ顏をして本船に持ち込まんとしたところを水上署員に發見されたが、同人の自白するところによると仁川新町雜貨商松原繁の依賴により購入密輸を企てんとしたものであると、しかして水上署には船長に一件書類とともに同人の身柄をたくし仁川稅關の指揮に任せる事とした

自動車通行人に追突

十二日午後零時三十分ごろ、西山會劉家屯、周水子道路に於いて大連市伊勢町二七プラチナタクシー乙種運轉手、高增力（二[illegible]）が乘客五名を乘せて大連に向つて疾走中、前方を通行中の大連管內南關嶺前三道灣劉述明（三[illegible]）に追突し、劉は腰部その他に三週間の重傷を受け直ちに應急手當を受けたが高增力は指定以外の車を運轉して居たゝめ目下沙河口署にて留置取調中

苦力の奇禍

十二日午後二時頃定期船うらる丸より鐵材起卸作業中の福昌華工の苦力郭明良（三[illegible]）は過つて鐵材に觸れ飛ばされて脫腸を破裂し、瀕死の重傷を受けたが直ちに吉野町堀江病院に擔ぎ込まれて手術を受けた

妙心寺大接心

市內楠町妙心寺では十二日より向ふ五日間毎朝五時より七時まで坐禪入室を行ふが一般の參禪を歡迎する由

初午祭

市內逢坂町稻荷大敎會では左記により初午祭式典を執行すると
除夜祭十二日午後七時▲本祭十三日午前十一時▲新穀祭同日午後二時

訂正

大連中央公園の改造に際し西園亭の立退き云々は靜月の誤りに付き訂正する

父陸軍二等軍醫從七位勳五等功五級金田正病氣之處養生不相叶十日午後九時長逝仕り候間御通知に代へ此段謹告候也
追而葬送の儀は途中行列を廢し十三日午後正三時天神町常安寺に於て相營み可申候

男 金田乙彌
親戚總代 北原孝麿
　　　　 富次素平
　　　　 武部治右衞門
友人總代 辻谷慶太郎
　　　　 戶銀三治
　　　　 長濱丹一
撲水會々長 村上純一

戀と地獄(40)

三上於菟吉作
鶴田吾郎畫

玉蟲色の唇(五)

藤田は食卓では堅苦い顔ばかりもしてはゐられなかつた。

「僕も若いから新らしいものへ心を惹かれます」

と、彼は正直に言つた。

「しかし、僕にもすべての(新)に對して同感すると、賛成する勇氣はありません」

「ソラ、御覧」

と、今波氏は言つた。

「お前がたのみにしてゐる藤田君だつて、すべての新に對して、ことごとく同意はしないと言ふではないか」

「駄目だわ。證三さん。あなたはいつの間にか折衷派になつてしまつて——お兄さまに巻かれてしまつて——」

と、綾子は蓮葉に言つた。

——いつの間にか折衷派になつてしまつた——今波氏に巻かれてしまつた——綾子の大して深い意味もないからうした言葉は、藤田の臓に不快な塊りを塞へさせた。

「さう言ふわけではありません」

と、藤田は紅くなつて言つた。

「たゞ、僕はことさらめいたらしさ——新、つまり街つた新奇には同意が出來ないと言ふまでです」

「もう議論はいい加減になさいましね。——この肉は宅の婆やが自慢の燒方なんでございますの——婆やは元、神戸で西洋人の女コックをしてゐたのでございます」

と、夫人は口を挾んだ。

——やがて、晩餐は濟んだ。

酒をたしなまぬ藤田は三杯のポートワインで頬をぽつと染めて暖爐の側の椅子へ腰を下した。——コーヒーは冷たく苦かつた——それが、しつこい晩餐の後の舌に大變おいしかつた。

「綾子、蓄音器でもかけたらどうだ」

と、今波氏は言つた。

「いゝえ、わたし、これから證三さんを私の部屋へ御招待するの。——そして、わたしの繪を御覧に入れて、——新らしさをてらつてゐるかどうか見ていたゞくのよ」

「さあ、證三さん。わたしの部屋へいらつしやいましね。——そりや涼しいわよ」

と、綾子は言つた。

「藤田君には、僕も實驗で見せる習のものがあるのだ——藤田君、あとで、遊びに來たまへ」

と、今波氏はさもうまさうにトルコ巻の煙を吐きながら言つた。

藤田は今波氏へちよいと會釋をして、綾子のあとについた。

——彼は綾子と二人ぎりになつて、またしても眠つてゐる情熱をかき立てられたくはなかつた——しかし、今波氏の側を少しでも離れてゐたかつた。

彼は細長い廊下を少し行つて二階への階段を上つた。

新刊紹介

▲圖書月錄(滿鐵庶務調査課編)昭和四年八月末現在まで(非賣品南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課發行)

▲優生學(二月號)「性愛の科學」(後藤龍吉)「所謂胎教と優生學」(三宅鑛一)等(定價三十錢兵庫縣武庫郡香櫨園森具日本優生學協會發行)

▲北京週報(一月廿六日號)「國民黨と支那革命の將來」(吳國楨)「吉海吉敦線の現狀と將來」(邱雄三)「日支經濟提携の考察」(竹内克巳)「南京覇權の衰頽と廣三省」等(定價二角五分北京東城五老胡衕燕塵社發行)

▲實業界(二月號)「販賣の理論と實際」(井關十二郎)「中小工業者の發展策」(藤原銀二郎)「廣告表現と效果の理論」(粟屋義純)「最も效果的な新案商標略」(井上成之助)「圖案と文案の均衡」(佐藤忠六郎)等(定價四十錢東京麴町區平河町實業界社發行)

▲理化教育(二月號)「白米中毒說について」(鈴木梅太郎)「調味料の化學」(赤堀四郎)「科學史に根ざす理科教育案」(龍山旭)「再び操手方面の理科教授について」(勝崎豬之助)等(定價四十錢東京市小石川區雜司ヶ谷理科教育研究會發行)

▲婦人と新社會(二月號)「經濟問題と家庭問題」(政治と社會)「母心と法律」「妻子を捨てる男を保安處分に」等(定價十錢東京市四谷區南伊賀町其社發行)

▲世界と我等(二月號)世界政局を說明す(定價十錢東京麴町區丸の內國際聯盟協會發行)

▲滿洲建築協會雜誌(二月號)全卷を「關帝廟建築史の研究」後篇(村田治郎)に充つ寫眞、設計圖等を添へ眞摯な研究である(定價六十錢大阪市野伊町滿洲建築協會發行)

▲明德論壇(二月號)「史實に現はれたる邦人の海外發展」(藤田斬墨)「思想運動より政治運動へ」(大石正樹)「五教統一」(中崎棋峰)「新大學術義」(用九隆主)等(定價十錢東京芝區田村町其會發行)

▲養生時評(一月二十八日號)(定價五錢東京四谷區愛住町其社發行)

▲卓球(二月號)「卓球の科學的研究」(城戸尙夫)を初め斯界の消息を集む(定價十錢大阪市住吉區天王寺町日本卓球社發行)

▲左翼藝術(二月號)創作に「待つてゐる」(多賀賢三)「地に頬つても」(入澤泉)「何も彼も搖ぐ」(創持八助)「街の羞恥部」(赤木茂)外に詩、短歌、評論(定價廿錢東京小石川區大塚上町中西書房發行)

滿洲日報

補血强壯增進劑
ブルトーゼ
病源は遠し
故に吾等は常に病源の侵入を未前に防止し得る强健なる体軀を養へ……即ち
血殖し肉肥せ
ブルトーゼは服用直ちに血となり生体の新陳代謝を旺にし諸病症に對し抵抗强力なる体軀とす
健康素なり
▼ブルトーゼには体質と症狀とにより用途を異にする・單味・アルゼン・ヨード・キナ・グアヤコールの五製劑あり
大阪道修町二 藤澤友吉商店
B―202
ノーシン!! ノーシン!! 頭痛にノーシン!!!
株式會社 大連機械製作所
製品 鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置 鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、暖爐類
要目 汽罐、汽機烟突、各種機械類、設計、製造、据付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯
本店 大連市沙河口棗山町 電話
分工場 支店並 奉天西塔大街三丁目
タバコのみの
スモカ歯磨
「白のショールは寒そうですナ」「ほゝスモカ使はぬ歯の色はお暖かそうネ」
346

胸に高鳴る名酒のときめき
ヘルメス
ウヰスキー
H317

家庭とコドモ

海外寫眞ニュース　ふわ〳〵と天に昇る　珍趣向の大人形

何んでもかんでも人の度膽を拔かなければ承知しないヤンキーの餘興はいつでも奇拔だ。これはある祭日の餘興、町の中を引つ張り廻してゐるのは高さ三十尺もあらうといふ素晴らしく大きな人形で中にはヘリウム瓦斯を一ぱいつめこんであるから綱を放せばふわ〳〵と昇天しやうといふ珍趣向、こんなものをこしらへてむやみに嬉しがつて居るところにヤンキーの面目が躍如としてゐる。

私は茲に……新問題を提供す　優等生劣等生問題

大連商業學校　園山良之助

三

斯くて四年以下位の兒童を、おしなべて優等生劣等生の統計に作り上げることはむづかしいことであるのだ。私は確く信じて疑はぬ

◇この時代の　兒童が、教師から優等生、劣等生と決定されることが、如何にその子供の一生涯に幸福であり不幸であるか、又父兄の幸福であり不幸であるか「一生涯」といふ。低學年時代の教修興味は、直ちに人間一生涯に關係するほど力強い、即ち中等教育以上の學習に非常に大きな結果を齎すのである。教師は誰れも經驗してゐることであるが、低學年(小學校でも中等學校でも)では何うした拍子か時に意想外の好成績を表はすことがある。此の所に私だちは深い教育者的内省を促された。何人もこの間の

◇消息を考へ　工夫するのであるが、實は中々何十人の學級教育では、眞に個人々々の個性に適當した教育を施すことはむづかしい。わるくなつたのを救濟するの至難、よい子供を益々助長してやることの手數。考へれば考へる程教育者の仕事は難中の難事である。私は單に理想をのみいふてゐるのではない。斯くて或る兒童の一人一人をば、これは優等生、これは劣等生と決定し、又表示し得るであらうか。然かく決定することは、實に身の毛もよだつほどに恐ろしい責任感である。

四

さて、いくら指導してもよくならないものは劣等生、ほつておいてもよくやるものを優等生ときめて統計を作らうとする。するとむかし私のやつた樣に、何點以上何點以下ときめねば決定されない。しかし

◇このことは　よく考へて見ると、八十九點と九十點と三十九點と四十點とのはじめは實は妙なものではあるまいか(いくら妙でもそうしなければ優中劣の區別は決められぬではないかといへば話はそれまでだ)そうして決めたところで實は人間の優れた人と劣等な人といふものはさう簡單に表示されるものではあるまいと思ふが如何であらう。

五

次に又この統計が或級々を單位として優劣を決めてあるとしたら又一つの問題が起る

◇その級の中　には年齡の一年又は二年長じた兒童が居はせぬか。或父兄がその教育方針から學齡を一年後らせて入學させたとしたら、その子供は、入學直ちに學校作業の全般に就いて其級中の所謂優等生たることは疑ひを容れないことである。この點について統計としては考量に入れねばなるまい(未完)

おはなし　四十人の盗賊 (11)

大瀧胖譯

「私の歩いた經驗からこゝが昨日の家にちがひありません」そこで盜賊は白墨で扉に印をつけてからマスタツフアの目かくしを取りました。「一體これは誰の家かね」と尋ねました。「私はこの邊は初めてですから誰の家か知りません」と答へました盜賊はそれ以上この紐直しに尋ねても駄目だと思つて約束の金を與へて大急ぎで山に歸つて行きました。しばらくしてモルヂアナが使ひから歸つて見ますと白墨の印に目をつけました。「誰かこんなことをしたのでせうかしらきつと御主人の敵が目じるしをつけたのかも知れない」と思つて大急ぎで白墨を持つて來て近處の家に同じ樣な印をつけてだまつてゐました。さつきの盜賊は得意になつて仲間に話しました直ちに團長と二人して街の印をつけた家までやつて來ました。通りに來ましたとき盜賊は白墨を指さしました。けれども團長は同じ樣なちつとも違はない印が方々の家にあるのを見つけましたので自慢してゐた男は自分のつけた印を識別することが出來なく頭が混亂してしまひました。彼は約束通り山につれられて行き殺されてしまひました。

大チヤンノ　モウジウガリ (28)

ハルミチ作　ジラウ畫

ジドウシヤ ハ ヤケツクヤウナ ノハラヲ トホリヌケ キミノワルイ ヌマ ヲ ワタリ、ケハシイ ヤマ ヲ コエテ ソノヒノ ユフガタゴロ トアル キノ シゲミノ アルトコロ ニ ツキマシタ。ソコニハ ソレハ ソレハ キレイナ ミヅ ガ ワキデテキマシタ。

「サア、ケフノ オヤド ハ コノ キノシタダ」フタリ ハ ヤシノキ ノ シゲミ ニ ジドウシヤ ヲ イレテ、ココデ イチヤヲ アカスコトニ ナリマシタ。アツイクニ ノ ユフヒハ キンイロ ニ カガヤイテ ダンダン クレカカリマス。」

毛織物の漂白の仕方

毛織物のひどく汚れたものは漂白を行ひます。その方法は次の樣にすれば良いのです。先づ水一升に對して酸性亞硫酸曹達凡そ大匙四杯、及酸性亞鉛末を小匙二杯の割合に混ぜ合せた液を作り、亞鉛末と、亞硫酸ソーダとが化合して、亞鉛末の消失するのを待つて

汚れた布を入れ、暫時の間浸しておきます。やがて漂白するのをまつて布を液からひき出し洗濯法を行ふのであります。洗濯液は微溫湯一升に對してマルセル石鹼或ひはラックス石鹼三匁乃至八匁——これは汚れの程度で加減します。それに更にアムモニヤ水を入れて、少々臭い位にします此の液に漂白された布を浸して汚れをよく振り出し、なは取れない汚れはつかみ洗ひをして除きます　それが終つたなら、新しい右の樣な液を拵へ凡そ一時間位浸しておきよくゆすぎます。そして更に醋酸を少々すつぱい位に入れた水液に浸してからそれをしぼらずに風通しの良い處に干しておきます。若し色物の布ならば陰干しにしなければなりません。これが半乾きになるのを待つてアイロンで仕上げをすればよいのです。

テレビジヨン

▽臺灣高雄市内を一匹の野犬が鋭利な刃物で切斷したと覺しき血に塗れた嬰兒の生首を啣へてうろ〳〵してゐるのを發見、警察では近頃奇怪なる事件として活動を開始した

▽日本航空輸送會社で東京大阪間の空のお客さんの年齡と職業別を統計したのによると最年長は七十八歳の爺さん、最年少はお母さんに抱かれすや〳〵寢通して來た赤ちゃん、婦人は全體の約一割、最も多いのは三十歳前後で、文士と畫家が外國人と殆ど同數だつた

▽長岡市千手小學校の三年生皆川ハナ(一〇)は教室のストーブにあたりながら編物をしてゐる中毛糸に火がうつり生不動となつて遂に死亡、職員の看護不行屆きとあつて問題となつてゐる。

▽全國診名番附の横綱格、奈良縣矢田村に住む「澤井麗呂鬼久壽老八重千代子孃、今年廿歳の花恥しい娘さん、我名に耐りかね單に「千代子」と改名を願ひ出たジゲムも跣足の長名だ

▽貧しい日稼者の妻が子供に與へなければならぬ二十錢の學用品代欲しさに屑拾ひに出かけたが思ふやうに屑が拾へぬのでつひ惡心を起し、不在の某家に忍び入り金品を物色中御用となつた憐れな母親が神戸にあつた。

けふの放送

實用支那語會話　第三十九(其一)

1 客齊了麽
2 都來了、拿酒來
3 喝甚麽酒
4 老酒跟淸酒
5 不要啤酒麽
6 等一會兒再說
7 是是
8 還見短一個酒杯
9 我就拿來
10 快來酒

同上(其二)

1 酒來了
2 再拿兩瓶汽水
3 要甚麽牌子的
4 甚麽的都行
5 那位要
6 他們兩位堂客
7 不要別的了麽
8 再來一雙筷子
9 就來
10 我來斟酒

譯文(其一)

1 お客樣はお揃に成りましたか
2 皆來られた、酒を持つて來なさい
3 御酒は何を召上ります
4 老酒と淸酒を
5 ビールは宜しう御座ゐますか
6 後からの話にしやう
7 ハイハイ
8 此處に盃が一つ足らない
9 直ぐ持つて參ります
10 速く酒を持つて來なさい

同上(其二)

1 御酒が參りました
2 サイダーをモウ二瓶持つて來て
3 何印のに致しませう
4 何のでも宜しい
5 どなたが召上ります
6 あの二人の御婦人が
7 外に御入用有りませんか
8 モウ一膳箸を持つて來て
9 直ぐ持つて參ります
10 私が一つお酌しませう

(字新)。啤。杯。汽。雙。筷。斟。

緊縮節約に關する兒童の心得 (二)

大連朝日小學校作製案

◇品物の取扱方

1、机、腰掛の取扱に注意しませう
2、水道の水は使つたらすぐせんをしめませう
3、水は必要の量だけ使つてむだにせぬ樣心がけませう
4、電燈は不用になつたらすぐ消しませう
5、機械、器具はこはさぬ樣によく氣をつけませう
イ、手工室、圖書室の用具をこはさぬ樣にしませう
ロ、理科の標本機械等はよく氣をつけて取扱ひませう
ハ、圖書室の書物は出し入れに注意して大切に取扱ひませう
6、窓硝子高價な物ですからこはさぬ樣に氣をつけませう
7、書物は大切な寳ですから丁寧に取扱ひませう
8、瀬戸物・硝子、石膏細工はこはれ易いからこはさぬ樣に氣をつけませう
9、地圖、掛圖は破れ易いからよく注意して取扱ひませう

アイフを服用すべき病名
◉急性腸加答兒◉慢性腸加答兒
◉大腸加答兒◉慢性下痢◉粘液性下痢◉腸潰瘍◉下痢性慢性盲腸炎◉急性胃加答兒◉慢性胃加答兒◉胃酸過多症◉胃アトニー
◉胃擴張◉初期胃癌及び胃潰瘍
アイフ藥價
普通アイフ 四日分 七十五錢 八日分 一圓五十錢 十七日分 三圓 四十五日分 七圓
重症用特製 十一日分 五圓 二十三日分 十圓 三十六日分 十五圓 八十日分 三十圓
發賣本舗 順和公司
大阪東區清水谷西之町三六五番地
振替大阪三四五番 電話東(五五〇〇 五〇〇二 五〇〇三)
大連市山縣通 順和公司大連支店
慢性胃腸病にて
從來の種々の藥を服用するも効なく外觀には左程大病らしく見へざるも胃腸內壁には恐ろしき疵やたゞれを生じ
◉食慾進まず胸先痞へ嘔つき嘈囃出で
◉腹はり放屁多く出でゴロゴロと鳴り
◉滋養物を食するも身につかず身體衰弱し
◉肺尖肋膜に故障を起し咳や熱出で
◉下痢や軟便にて便に粘液膿汁を混じ
◉胃酸過多症にて食前食後に胃部痛み
◉元氣衰へ顏色悪しく神經過敏となり
◉飮酒や不消化物を食するも覿面下痢し
◉重症にて痛み甚しく便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用せられよ。アイフは內服と同時に其の主藥は腸胃內壁に於ける糜爛面に附着し炎症を鎭め粘膜を强壯にし粘液の分泌を減じ腸の蠕動を制し下痢を止め痛を鎭靜す故に食慾を增加し血色を良くし榮養の吸收を佳良にし健康を著しく增進せしむるの効果を有す
頑固なる慢性胃腸病には断乎としてアイフを服用せられよ
アイフは慢性胃腸病に對する絶對的最良藥なり
THE AIFU
アイフ
MAED IN JAPAN

戀と地獄（40）

三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

玉蟲色の唇（五）

藤田は食卓では堅苦い顏ばかりもしてはゐられなかつた。

「僕も若いから新らしいものへ心を惹かれます」

と、彼は正直に言つた。

「しかし、僕にもすべての（新）に對して同感すると、斷言する勇氣はありません」

「ソラ、御覧」

と、今波氏は言つた。

「お前がたのみにしてゐる藤田君だつて、すべての新に對して、ことごとく同意はしないと言ふではないか」

「駄目だわ。銓三さん。あなたはいつの間にか折衷派になつてしまつて——お兄さまに卷かれてしまつて——」

と、綾子は躍起に言つた。

——いつの間にか折衷派になつてしまつた——今波氏に卷かれてしまつた——綾子の大して深い意味もないからした言葉は、藤田の胸に不快な塊りを[illegible]へさせた。

「さう言ふわけではありません」

と、藤田は紅くなつて言つた。

「たゞ、僕はことさらめいたらしさ——新、つまり街つた新奇には同意が出來ないと言ふまでです」

「もう議論はいゝ加減になさいましね。——この肉は宅の婆やが自慢の燒方なんでございますの——婆やは元、神戸で西洋人の女コックをしてゐたのでございます」

と、夫人は口を挾んだ。

——やがて、晩餐は濟んだ。

酒をたしなまぬ藤田は三杯のポートワインで顏をぽつと染めて張出窓の椅子へ腰を下した。——コーヒーは冷たく苦かつた——それが、しつこい晩餐の後の舌に大變おいしかつた。

「綾子、蓄音器でもかけたらどうだ」

と、今波氏は言つた。

「いゝえ、わたし、これから銓三さんを私の部屋へ御招待するの。——そして、わたしの繪を御覧に入れて、——新らしさをてらつてゐるかどうか見ていたゞくのよ」

と、綾子は言つた。

「さあ、銓三さん。わたしの部屋へいらつしやいましね。——そりや涼しいわよ」

「藤田君には、僕も自慢で見せるものがあるのだ——藤田君、あとで、遊びに來たまへ」

と、今波氏はさもうまさうにトルコ卷の煙を吐きながら言つた。

藤田は今波氏へちよいと會釋をして、綾子のあとについた。

——彼は綾子と二人きりになつて、またしても眠つてゐる情熱をかき立てられたくはなかつた——しかし、今波氏の側を少しでも離れてゐたかつた。

彼は細長い廊下を少し行つて二階への階段を上つた。

新刊紹介

▲圖書目錄（滿鐵庶務調査課編）昭和四年八月末現在まで（非賣品南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課發行）

▲優生學（二月號）「性愛の科學」（後藤龍吉）「所謂胎教と優生學」（石川千代松）「教育病理學」（三宅鑛一）等（定價三十錢兵庫縣武庫郡香櫨園森具日本優生學協會發行）

▲北京週報（一月廿六日號）「國民黨と支那革命の將來」（吳國楨）「吉海吉敦線の現狀と將來」（邱隆三）「日支經濟提携の考察」（竹內克巳）「南京覇權の褒貶と東三省」等（定價二角五分北京東城五老胡燕塵社發行）

▲實業界（二月號）「販賣の理論と實際」（井關十二郎）「中小工業者の發展策」（藤原銀二郎）「廣告表現と效果の理論」（粟屋義純）「最も效果的な新案商標略」（井上成之助）「圖案と文案の均衡」（佐藤忠六郎）等（定價四十錢東京麹町區平河町實業界社發行）

▲理化教育（二月號）「白米中毒說について」（鈴木梅太郎）「調味料の化學」（赤堀四郎）「科學史に根ざす理科教育案」（龍山旭）「再び摘手方面の理科教授について」（勝崎豬之助）等（定價四十錢東京市小石川區雜司ヶ谷理科教育研究會發行）

▲婦人と新社會（二月號）「經濟問題と家庭問題」（政治と社會）「母心と法律」「妻子を捨てる男を保安處分に」等（定價十錢東京市四谷區南伊賀町共社發行）

▲世界と我等（二月號）世界政局を說明す（定價十錢東京麹町區丸の內國際聯盟協會發行）

▲滿洲建築協會雜誌（二月號）全卷を「滿帝陵建築史の研究」後篇（村田治郎）に充つ寫眞、設計圖等を添へ眞摯な研究である（定價六十錢大阪市野伊町滿洲建築協會發行）

▲明德論壇（二月號）「史實に現はれたる邦人の海外發展」（藤田斬雲）「思想運動より政治運動へ」（大石正閥）「五教統一」（中崎氣峰）「新大學術義」（用九庵主）等（定價十錢東京芝區田村町共會發行）

▲衞生時評（一月二十八日號）（定價五錢東京四谷區塚町衞生時評社發行）

▲卓球（二月號）「卓球の科學的研究」（城戶尙失）を初め斯界の消息を集む（定價十錢大阪市住吉區天王寺町日本卓球社發行）

▲左翼藝術（二月號）創作に「待つてゐる」（多賀晋三）「地に頰つても」（入澤泉）「何も彼も搖ぐ」（赤木創持八助）「街の羞恥部」（[illegible]茂）外に詩、短歌、評論（定價廿錢東京小石川區大塚上町中西書房發行）